



南部地区代表（小祿支店）

## 「ちゃぐりん で成長したよ！」

よなは ひなり  
高良小学校 4年 與那覇 陽愛

私は、四年生になって手芸クラブに入り小物作りに、きょうみがでてきました。ちょうど七月には妹のたんじょう日があったので「うずまきキャンデーのクリップ」と、「キャンデートレー」を作りました。

最初に「うずまきキャンデーのクリップ」の作り方を説明します。

- ①2枚のフェルトをかさね接着剤をつける。（フェルトを5mmずらして重ね折り込んで接着剤でとめる。）
- ②内側のフェルトに接着剤をつけ少しずつまく。
- ③外側のフェルトに接着剤をつけ少しずつまく。
- ④ロールの形がくずれないように指でおさえ目打ちでグリグリと回しながら5mmほどあなをあける。
- ⑤綿ぼうのぼうを3cmハサミで切る。
- ⑥④のあなに接着剤をつけ⑤のぼうをさしこむ。
- ⑦洗たくばさみの側面全体にうすく接着剤をぬりリボンをはる。
- ⑧⑦に⑥をはり、かざりのリボンはって完成です。かわいく仕上がりました！

つづいて「キャンデートレー」の作り方を説明します。

- ①型紙を使ってフェルトにしるしをつける。
- ②両側を切る。
- ③折り山にそっておる。
- ④両側をカラータイでねじる。
- ⑤広げて形を作る。これで完成です。テーブルにおくととても色どりもきれいでインスタばえしますよ！妹はおもちゃやおかしをたくさん入れて大よろこびしていました。

さらにお母さんに手伝ってもらい「おすしで作ろうデコケーキ」にちょうせんしてみました。

具のしいたけは妹がきれいなので小さくみじんぎりにした時は、指を切らないかドキ

ドキでしたが、がんばったかいもあり妹は「かわいいおすしケーキありがとうね、お姉ちゃん！おいしいよ。」と言って完食してくれました。そしておじいちゃん、おばあちゃんも「とてもおいしいよ。」と大こっぴょうでした。友達にそのことを話したら「すごい！どうやって作ったの？」と聞かれ『ちゃぐりん』にわかりやすく作り方がのっているよ！」と教えてあげると友だちもきょうみをもって来て図書館で一緒に読みに行きました。

私は、ようちえんのころからハウセンカで色水あそびをするのが好きでした。「おどろき科学研究所」のコーナーで「カメレオン色水」にきょうみがありました。「カメレオン色水」の作り方を説明します。

- ①ムラサキキャベツは3 cmくらいにちぎってなべに入れ、ひたひたにお湯を入れて5分ほどにする。
- ②色が出たらさましガーゼでこす。そうすると、むらさき色の色素液ができました。水で色素液を2倍にうすめコップに深さ2 cmほど入れる。3 つの調べたい物を準備し実験スタート。

- ①重そうを入れると、こいブルーになりました。
- ②炭酸水を入れるとピンク色になりました。
- ③レモン汁を入れると赤むらさき色になりました。理科の時間に使うリトマス紙をムラサキキャベツにふくまれるむらさき色の成分にも同じ性質があるそうです。液の性質で色が変わり、中性のときは、むらさき色で、酸性では赤むらさきから赤に、アルカリ性では青むらさきから青、黄緑の順に変わるそうです。

私が実験したレモン汁、炭酸水は酸性。重そうはアルカリ性という事がわかりました。

弟たちと「わあ！すごい！」と色の変化に感動しました。私は年々『ちゃぐりん』を読んで色々と学び成長してきたかな！と思います。これからも、『ちゃぐりん』を読んでもっともっと成長していきたいと思います。